

第3章 北九州市文化芸術推進プラン全体像

1 基本理念

まちに彩りを。心に豊かさを。 多様な人を惹きつける文化共創都市

北九州市の多彩な文化芸術の力を最大限発揮させることで、まちの魅力を高め、多様な人々を惹きつけ、都市の成長につなげるとともに、誰もが文化芸術を通じてウェルビーイングを実現できる文化都市を目指し、市民や団体・企業等と行政が一丸となって新たな価値を共に創ります。

2 北九州市文化芸術推進プランの全体像

まちに彩りを。心に豊かさを。多様な人を惹きつける文化共創都市



3 北九州市文化芸術推進プラン3つの柱

基本理念「まちに彩りを。心に豊かさを。多様な人を惹きつける文化共創都市」を実現するために、文化芸術の力を最大限活用し、以下3つの柱に基づき施策を展開していきます。

柱	概 要
まちに彩りを 生み出す	多彩で質の高い文化芸術に触れる機会を、まちなかやナイトタイムなどで多面的に生み出すとともに、魅力的な地域の祭りや文化資源を磨き上げることで、まちや生活に華やかな彩りを生み出し、都市ブランドを築いていきます。
豊かな心と 活力を育む	次世代を担う子どもや若者が、文化芸術に興味を持ち、体験する機会を充実させるとともに、誰もが自分らしく楽しむことができる、インクルーシブな文化芸術に取り組むことで、市民の豊かな心と日常の活力を育み、都市ブランドを未来につないでいきます。
多様な人を 惹きつける	多世代が興味を寄せるコンテンツを活用した、発信力や集客力の高い文化芸術の取組を充実させるとともに、地域の魅力的な資源を活用した文化観光を推進し、都市ブランドを輝かせることで、まちへの期待と注目を集め、多様な人を惹きつけ、地域経済の好循環を生み出していきます。

第4章 各施策の方向性

1 文化芸術の力で「まちに彩りを生み出す」

(1) 多彩で質の高い文化芸術に触れる機会の確保

市民の心に大きな感動と明日への希望をもたらすことで、豊かな生活を実現するため、市民や文化芸術団体、企業等と連携しながら、文化施設を含め、まちのいたるところで、アートや音楽、演劇など、優れた文化芸術に親しむ機会を創出し、暮らしの質やシビックプライドの向上を図っていきます。

また、文化芸術と異分野のコラボレーションやナイトタイムエコノミー⁴の推進などによって、魅力的な時間・空間を生み出し、多世代の多様なニーズに応えるとともに、文化芸術の力を活用してまちの新しい価値を創出していきます。

まちなかアートイベントの写真

ナイトミュージアムの写真



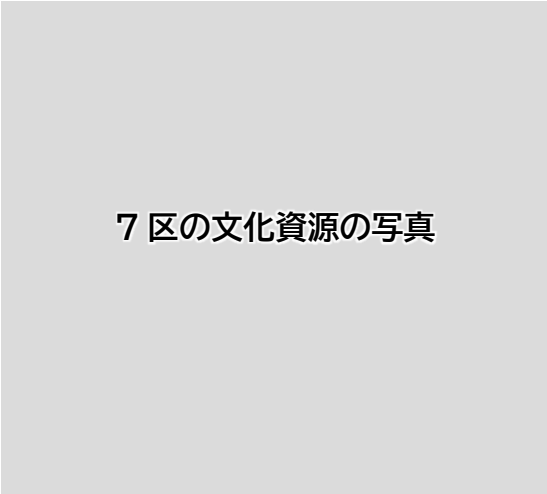
⁴ 地域の状況に応じた夜間の楽しみ方を拡充し、夜ならではの消費活動や魅力創出をすることで、経済効果を高めること

(2) 地域の魅力的な文化資源の磨き上げ

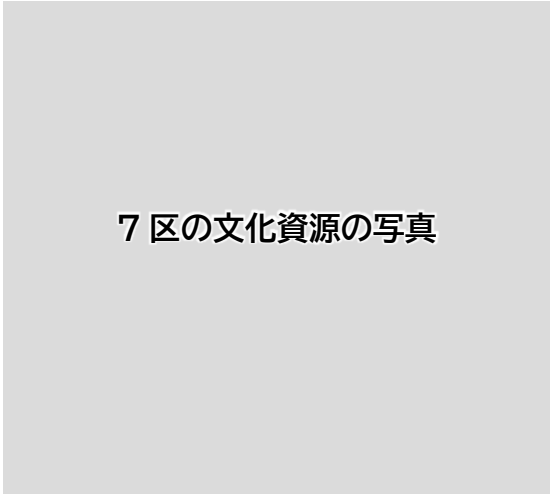
北九州市には、7区それぞれに地域に根差した文化資源が多数あります。こうした各地域ならではの歴史や文化を際立たせ、差別化を図り、情報発信することで、その魅力を磨き上げ、都市としてのブランド力の構築につなげます。

また、各地域で大切に受け継がれている、戸畑祇園大山笠行事や小倉祇園太鼓などの伝統文化を次世代に受け継いでいくため、関係者と連携した保存や積極的な情報発信、活用を進めていきます。

さらに、地域の歴史と風土の中で培われてきた文化財や埋蔵文化財などの「市民の宝」を分かりやすく公開し、大切に保存・継承することで、郷土の歴史と文化への理解を深め、郷土愛を育み、まちのにぎわいづくりなどにも活用していきます。



7 区の文化資源の写真



7 区の文化資源の写真

2 文化芸術の力で「豊かな心と活力を育む」

(1) 次世代を担う子ども・若者の文化芸術体験の充実

北九州市の次世代を担う子どもや若者の、豊かな感性や未来を切り開く創造性、一人ひとりに宿る多様な個性を育むため、学校や地域の人材など、社会全体のリソースを最大限に活用して、様々な場所で多彩な文化芸術に出会い、体験する機会の充実を図るとともに、グローバルに挑戦し、活躍する人材の発掘や育成に取り組んでいきます。

また、地域に根付く祭りや芸能、工芸などの伝統文化を守り、未来に伝える後継者や文化芸術の担い手を育成するため、多様な機会と手法を織り交ぜて、若い世代が郷土の歴史や文化芸術に興味を持つきっかけづくりに取り組みます。

子ども×アートの写真

子ども×音楽の写真



(2) 誰もが文化芸術に親しみ楽しめる環境づくり

性別、年齢、障害の有無や国籍等にかかわらず、誰もが自分らしく文化芸術に親しみ楽しめる、インクルーシブな社会⁵を実現するため、多世代かつ多様な価値観や背景を持った人が自然にお互いを認め合い、それぞれの強みを活かしあえる文化芸術の取組を進めます。

また、市民が主体となっていく個性あふれる多種多様な文化活動への支援や、地域独自の文化芸術に接し学びを深める機会の確保は、生涯学習や生きがいづくり、健康寿命の延伸にもつながるものです。そのため、日々の暮らしの中で、持続可能な形で文化芸術活動を継続できる環境づくりに取り組めます。

障害者芸術に関する写真

高齢者と子どもが交流する
文化活動の写真



⁵ すべての人が多様性に富んでいることを前提として、性別・国籍・宗教の違いや障害の有無など、その持っている属性によって排除されることなく、互いを認め合い、誰もが社会を構成する一員として共生できる社会

3 文化芸術の力で「多様な人を惹きつける」

(1) 多世代を惹きつける発信力の高い文化芸術の推進

全国的に多世代の注目を惹きつけ、多様な個性を持った人を呼び込み、まちの活気をさらに高めるため、時代環境やニーズの変化を踏まえつつ、集客力の高い文化芸術やエンタメコンテンツなどを活用し、非日常感を生み出すとともに、人の心を動かす取組を推進していきます。

また、漫画や映画など、親しみやすく世界的な注目を集めるメディア芸術の魅力を活用し、聖地巡礼などのロケツーリズム⁶やまちのイメージアップにつながる、発信力の高い取組を進めます。

なお、発信力の強化にあたり、海外、全国、近隣地域など、ターゲットを意識した情報発信に努めます。

クラシックコンサート
等の写真

エンタメコンテンツ関連の写真



⁶ 映画・ドラマのロケ地を訪ね、風景と食を堪能し、人々の“おもてなし”に触れ、その地域のファンになること

(2) 地域の魅力的な資源を活かした文化観光の推進

北九州市の文化資源が持つ魅力を伝え、文化振興に再投資される好循環や地域経済の好循環を生み出すため、ユネスコ世界文化遺産に登録された「官営八幡製鐵所関連施設」や、日本遺産に認定された「関門“ノスタルジック”海峡」、小倉城など、地域に根付く魅力的な歴史文化資源や、地域の特徴を捉えた官民の様々な主体が運営するミュージアムと連携した文化観光を推進していきます。

また、100年フード⁷に認定された「北九州の糠の食文化」を始めとして、強い来北動機をもたらし、新たな都市のブランドとなる寿司や焼肉など、様々な食文化を活用することで、北九州市ならではの体験価値を創出していきます。

加えて、外国人目線に立った魅力的なコンテンツの発掘や磨き上げ、感動的で記憶に残るストーリー化など、地域独自の歴史と文化を活かしてインバウンド観光につながる取組も推進します。

世界遺産の写真

日本遺産の写真



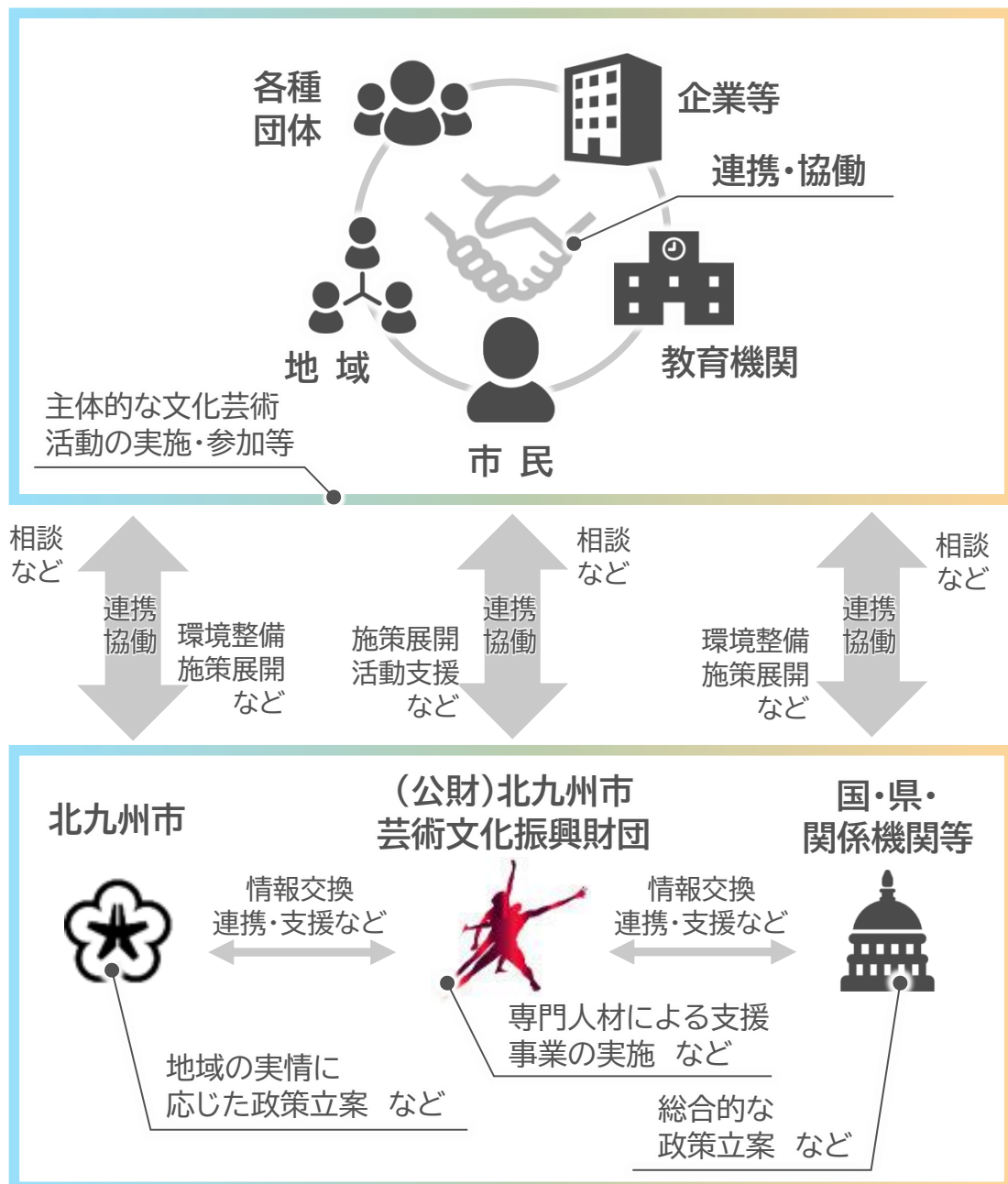
⁷ 我が国の多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を、100年続く食文化「100年フード」として文化庁が認定したもの

第5章 北九州市文化芸術推進プランの推進

1 推進体制

北九州市文化芸術推進プランの基本理念を実現するために、市の文化部門や文化関連施設だけでなく、経済や観光、福祉などの関係部門と連携を図りつつ、効果的かつ着実に実行していきます。

また、市の文化振興を担う「公益財団法人北九州市芸術文化振興財団」や文化芸術関連団体、文化芸術活動を行う市民や企業など、各ステークホルダーの役割や強みを踏まえながら、相互に連携・協働してプランを推進していきます。



2 推進にあたっての指標

北九州市文化芸術推進プランの推進にあたっては、以下を主な指標とし、文化芸術の特性を踏まえ、定性的な側面も捉えながら、目標の達成に向けて、各施策を展開していきます。

項目	現状値（R 4）	目標値
文化のかおるまちと思う 市民の割合	28.5% プラン全体のKPI	40.0% (R11)
文化芸術を身近に感じる 市民の割合	30.5% 柱①：まちに彩りを生み出す	40.0% (R11)
文化芸術活動をした 市民の割合	16.9% 柱②：豊かな心と活力を育む	30.0% (R11)
観光消費額	827億円 柱③：多様な人を惹きつける	1,800億円 (R10)

第6章 参考資料

1 文化や芸術に関する市民意識調査結果

約30P

2 北九州市の文化施設の概要

約3P

3 北九州市文化芸術推進プラン策定過程

本プランの策定にあたっては、「北九州市文化芸術推進プラン検討会」を設置し、有識者等の意見を伺うとともに、文化芸術団体や文化芸術イベント参加者、将来を担うZ世代や子育て世帯などへの意見聴取やアンケートを実施し、幅広く意見を伺いました。

《策定の過程》

日 程	概 要
令和6年 6月25日	第1回検討会 ・北九州市文化芸術推進プラン骨子案に関する 意見交換
7月～8月	子育て世帯へのアンケート調査
8月〇日	Z世代へのヒアリング
7月～〇月	文化芸術団体やイベント参加者へのアンケート
8月21日	第2回検討会 ・北九州市文化芸術推進プラン素案に関する意 見交換
11月〇日	第3回検討会 ・北九州市文化芸術推進プラン最終案に関する 意見交換

《北九州市文化芸術推進プラン検討会構成員》

氏 名	役 職
おおしま 大 島 まな	元 九州女子大学・九州女子短期大学 地域教育実践研究センター 所長
くぼやま まさひこ 久保山 雅彦	(公財)北九州市芸術文化振興財団 理事長
しらべ ひろちか 調 弘 誓	NHK 北九州放送局 局長
とやま のりこ 外山 典子	北九州市立藤木小学校 校長
は た の たかし 羽田野 隆士	北九州商工会議所 専務理事
ふじいし みさと 藤 石 美里	西南女学院大学 人文学部 観光文化学科 学生
みなみ ひろし 南 博	北九州市立大学 地域戦略研究所 教授
むろぞの てつこ 室 園 哲子	北九州文化連盟 常務理事

北九州市歌

北九州市文化芸術推進プラン

発行年月日	令和7年 月
編集・発行	北九州市（都市ブランド創造局総務文化部文化企画課）
連絡先	〒803-0851 北九州市小倉北区城内1-1 TEL 093-582-2391 FAX 093-581-5755